

## 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)または日本紅斑熱の治療のため受診中あるいは受診経験のある患者さんまたはご家族の方へ臨床研究に対するご協力をお願い

愛媛県立中央病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させて頂きますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

**【研究課題名】** 重症熱性血小板減少症候群(SFTS)患者の CT 所見の特徴に関する検討

### 【研究の目的】

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) は 2011 年に中国において新しい感染症として報告されたダニ媒介の感染症です。病原体は、SFTS ウイルスであることが確認されました。主な初期症状は発熱、全身倦怠感、消化器症状で、重症化し、死亡することもあります。国内では西日本で多く報告されており、愛媛県でも南予地域を中心に報告されています。診断のためには血液検査でウイルスを同定する必要があるのですが、CT 検査が診断に寄与する可能性があり、CT 画像の特徴を検証したいと考えています。

### 【対象となる方】

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の患者さんで 2013 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日まで入院、治療された方。また同じ時期にダニ媒介感染症である日本紅斑熱で入院治療された方も対象とします。

### 【使用する検体・診療情報】

検体:なし

カルテ情報: 診断名、年齢、性別、病歴、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査)

**【研究期間】** 臨床研究審査委員会承認日から 2023 年 3 月 31 日

### 【個人情報の取扱い】

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

### 【研究責任者】

愛媛県立中央病院

愛媛県立中央病院 本間義人

### 【問い合わせ先】

松山市春日町 83 番地

愛媛県立中央病院

感染症内科 本間義人

電話 089-947-1111..... FAX 089-943-4136